

1. 件名：福島第一原子力発電所における実施計画の変更認可申請（ALPS処理水の海洋放出関連設備の設置等）に係る面談
2. 日時：令和4年2月24日（木）13時30分～15時45分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者
原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
澁谷企画調査官、知見主任安全審査官、新井安全審査官、高松専門職、久川係員
大辻室長補佐、高木係長、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）
審査グループ 地震・津波審査部門
江崎企画調査官、服部主任安全審査官
東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
東京本社 担当10名（うちテレビ会議システムによる出席5名）
福島第一原子力発電所 担当3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、令和3年12月21日付けで提出のあった実施計画の変更認可申請（ALPS処理水の海洋放出関連設備の設置等）について、次回（第10回）東京電力福島第一原子力発電所 多核種除去設備等処理水（以下「ALPS処理水」という。）の処分に係る実施計画に関する審査会合（以下「審査会合」という。）に向けて、資料に基づき、以下の説明があった。

【審査会合における主な指摘事項等に対する回答】

- 原子炉等規制法に基づく審査の主要論点
 - ◇ 海洋放出設備
 - ✓ ALPS処理水の海水への混合希釈率の調整及び監視
 - ✓ 機器の構造・強度、地震・津波など自然現象に対する防護、誤操作防止、信頼性等
 - 政府方針への取り組みに関する主な確認事項
 - ◇ トリチウムの年間放出量
- 原子力規制庁は、上記説明内容を確認した。

6. 資料

ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設の新設について（案）